

トマトの奥深い「旨み」を追求する農園です

(赤磐市 橋本農園)

農業

林業

水産業

関連産業



(ミニトマトの生育状況を観察する橋本さん)



(高糖度ミニトマト「トマデリッシュ」)



【 経営規模 】

- ◆ 栽培面積： トマト20a
(大玉トマト7a、ミニトマト13a)
- ◆ 労働力： 家族2名、パート6名(常駐)

【 取組の経緯 】

- ・ 橋本農園は、約50年前に花き農家として開業
- ・ 約9年前に、花きの販売量が減少したため、
 - ・ 販売単価が高く、安定した収入が見込めること
 - ・ 既存のハウス施設が活用できること
 から、トマト栽培を開始

【 取組の概要 】

◆ トマト栽培へのこだわり

- ・ 橋本農園が目指すトマトは、新鮮でパリッとした皮と果肉の歯応えと果汁の甘みに加え、深い「旨み」が感じられるもの
- ・ トマト栽培は非常に繊細で、些細な条件の違いが食味に影響するため、様々な栽培方法について試行錯誤を重ね、甘み、旨みを増すための栽培方法を探求
- ・ 現在、ポットにトマト一株ごとを独立させ、日々、センサーで水分量を1滴単位で管理。必要最小限の量でトマトにストレスをかけ、厳しく育てることで、糖度を向上。さらに、温度、湿度、ミネラル分にも常に気を配り栽培

◆ 販売の特徴

- ・ 収穫・出荷が始まる8月下旬から翌年の1月までの間は、県内の市場や地元直売所へ出荷。一方、春先の2月頃から、糖度計による糖度の確認及び試食により、甘み、酸味、旨みのバランスが取れてきたと判断したものを高糖度ミニトマト(トマデリッシュ)として、全国の百貨店や高級スーパーに出荷。併せてインターネットでも販売
- ・ トマデリッシュは、パンフレットと専用箱のデザインを専門家に依頼し、商品価値をアピール

◆ その他

橋本農園の「トマデリッシュ」は、令和4年4月、一般社団法人日本野菜ソムリエ協会が主催した「第1回全国ミニトマト選手権」において、最上位の最高金賞を受賞

【橋本農園 橋本一樹代表からのメッセージ】

- ・ 生産量にこだわらず、できるだけ農薬を減らした食味の良いトマトを作っていきたい。
- ・ 「トマデリッシュ」のように付加価値を高めた商品を生産し、販路の拡大を目指したい。



【お問い合わせ先】

橋本農園
赤磐市斎富294
TEL：080-1900-1700

